

目指せオリンピック～スポーツジュニア育成事業開始!～

こんにちは
津久見高校です



このイラストは、会計システム科3年 安藤詩織さんの作品です。

1. 目的

津久見高校では、津久見市在住の小中学生に対し、スポーツをととして人間力の向上を図るとともに、競技力の向上をはかり、5年以内に全国制覇(優勝)できる人材を育成したいと考えています。

2. 育成対象部活動

フェンシング部、ボクシング部、レスリング部、水泳部

3. 育成対象児童生徒

津久見市内小学校5年生から中学校3年生

4. 主催、協賛、後援

主催:津久見高校 協賛:エンジョイつくみ

後援:津久見市教育委員会

フェンシング



レスリング

5. 参加方法

①12月21日(日)に行われる、「4部合同体験教室」に参加してください。

②入会したい部活動があれば、「総合型地域スポーツクラブ」(エンジョイつくみ)に所属し、所定の手続きを行い、練習に参加してください。

※詳しくは、各学校に配布している「ご案内」やポスター等をご覧ください。



ボクシング



水泳

津高生 One By One

今月は、会計システム科3年の菊池香菜さんの登場です。彼女は、11月3日に大分大学で開催された「第10回高校生なるほどアイデアコンテスト2014」でグランプリに次ぐ大分合同新聞社賞に選ばれました。彼女にインタビューしました。(菊池さん:K、インタビューー:I)

菊池香菜 会計システム科3年 臼杵市 西中・福良ヶ丘小出身

I:まずは、受賞おめでとうございます。

K:ありがとうございます。

I:このコンテストは、どのような大会なのですか?

K:はい、平成17年に第1回目開始され今回で10回目となります。今年は1164件(1279名)の応募があり、1次審査で10組が選出されて2次審査会に進みました。2次審査会は大分大学で行われ、1組4分間の作品紹介プレゼンテーションを行い各賞が決定されました。2次審査では、地元大分の高校生から群馬県や愛媛県、宮崎県の高校生までいました。

K:菊池さんのプレゼンの内容と発表のきっかけを教えてください。

はい。「タコばん 指先までしっかりはれる!!」という発表でした。この大会が開催されると知ったとき偶然友人が指先を怪我し、絆創膏を貼ってあげたとき、隙間ができてうまく貼れなかったのがヒントで、「ピッ!」と来るものがありました。

試作品1

I:苦労した点は?

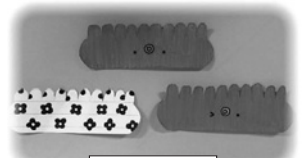
K:一番苦労したことは、指先に貼ったとき密閉性を高めるための切り欠きの入れ方です。2番目に苦労したことは、販売に向けてのターゲットを子どもとしましたので、子どもたちが喜んで使ってもらえるようなデザインとパッケージを考えたことです。

I:ところで、高校卒業後の進路を教えてください。

K:お菓子屋さんで創造的な商品開発ができればいいなと思っています。私が考えた商品で多くの人たちが笑顔になってくれればうれしいです。

I:ありがとうございました。次はぜひお菓子づくりで皆を喜ばせてください。

試作品2



津久見高校からのお知らせ:本校では、地域に根ざした学校づくりを進めております。

ご意見やご要望等があればご連絡ください。

☎82-4126